

## 新型インフルエンザ対策

### 概要

### 新型インフルエンザ対策

#### 新型インフルエンザについて

新型インフルエンザは、ヒトが免疫を持たないことから感染が爆発的に拡大するおそれがある。

(政府行動計画上の想定)

- 医療機関を受診する患者数：最大2,500万人
- 入院患者数：53～200万人
- 死亡者数：17～64万人

#### 対策

○「新型インフルエンザ対策行動計画」及び「新型インフルエンザに関するガイドライン」(※)を策定し、政府一体となって対策を推進。

※ガイドラインは、水際対策、事業者対策、医療対策、普及啓発などの各種の具体的対策を規定

- 平成19年10月、新型インフルエンザ発生時に、必要に応じ、内閣総理大臣を本部長とする対策本部を設置することを閣議決定
- 抗インフルエンザウイルス薬を、平成19年度までに国・都道府県・流通備蓄分でタミフル2,800万人分、リレンザ135万人分確保。平成20年度補正予算でタミフル1,330万人分、リレンザ133万人分を追加備蓄。
- プレパンドミックワクチンについて、平成19年度までに約2,000万人分を備蓄、平成20年度補正予算で約1,000万人分を追加備蓄。平成21年度予算案で1,000万人分を備蓄。
- 関係省庁及び自治体参加の下、新型インフルエンザの発生に備えた訓練を4回実施。
- 新型インフルエンザについて、入院勧告等の措置とともに、停留等の水際対策を行うための感染症法等の改正を実施。(平成20年5月12日施行)

#### 過去のパンデミックの規模と死者数の推計

流行年	通称	世界の死亡者数
1918-19	スペインインフルエンザ	4,000万人
1957-58	アジアインフルエンザ	200万人以上
1968-69	香港インフルエンザ	100万人以上

#### 訓練の風景



(官邸における総理及び全閣僚が出席した新型インフルエンザ対策本部の開催)  
(厚生労働省と愛知県とのテレビ会議)

※平成21年1月関係省庁及び自治体(愛知県)参加の下、新型インフルエンザの発生を想定した訓練を実施した。



### 詳細データ

#### 新型インフルエンザ (A/H1N1) 発生状況

